

雲北陵月報

No. 477

令和7年5月30日
出雲北陵中学高等学校
土江明文社 印刷

優勝への執念！大奮闘！！

男子ソフトテニス部

ソフトテニス県高校シングルス大会

時 4月13日

於 浜山公園テニスコート

ベスト8
川角光夢(32歳)・高野幸大(23歳)
木村一心(13歳)

ソフトテニス中国大会県予選

時 4月25〜27日

於 浜山公園テニスコート

団体・個人共に制す！

〈団体〉優勝

団体メンバー(川角・岡田・山下・三上・高木・河野・高野・木村)

2回戦 ③10 三刀屋
準々決勝 ②10 松江東
決勝 ②10 出雲工業

〈個人〉

優勝 川角光夢・山下柀人(25歳) ペア
ハイスカールジャパンカップへの出場権を獲得
ベスト8 高野幸大・岡田隆聖(31歳) ペア
ベスト16 三島綾太(22歳)・木村一心 ペア
高木映瑠(24歳)
・三上瑛大(25歳) ペア

○大会総評

県総体のシード権を決める大切な試



合で、団体個人共に優勝することができた。これからの期間までこの調子で頑張りたい。当日はたくさん保護者、OBの方に応援に来ていただき有難うございました。(顧問 佐々木雄志)

個人戦優勝の川角・山下ペア
個人戦優勝の川角・山下ペア
個人戦優勝の川角・山下ペア

女子ソフトテニス部

ソフトテニス県高校シングルス大会

時 4月13日

於 浜山公園テニスコート

優勝 今田心(13歳)
2位 森田早貴(24歳)
3位 水永成実(13歳)
高野愛未(34歳)
栗原奈々(35歳)

ベスト8
杉谷 皐(34歳)
曾田珠凜(23歳)



優勝した今田選手

ソフトテニス中国大会予選

時 4月25〜27日

於 浜山公園テニスコート

〈団体〉優勝

団体メンバー(杉谷・高野・今田・栗原・井上・森田・曾田・水永)

2回戦 ③10 矢上
3回戦 ②10 出雲
準決勝 ②10 松江西
決勝 ②10 松江南

〈個人〉

優勝 杉谷 皐・高野愛未 ペア
2位 今田 心・栗原奈々 ペア
3位 井上心々奈(23歳)
牛尾真緒(12歳) ペア

ベスト8
水永成実・曾田珠凜 ペア
落合 遥(23歳)・森田早貴 ペア



個人戦優勝の杉谷・高野ペア
個人戦優勝の杉谷・高野ペア
個人戦優勝の杉谷・高野ペア

大きな成果であった。個人戦で優勝した杉谷・高野ペアは6月に行われるハイスカールジャパンカップ(北海道)の出場権を獲得した。更にステップアップできるように個々の課題の克服に努めていきたい。

第32回全日本ソフトテニス選手権大会

時 5月17・18日

於 宮崎市清武総合運動公園テニスコート

2回戦 杉谷 皐 4-1 新潟代表選手
森田早貴 0-4 埼玉選手
水永成実 1-4 岐阜代表選手
3回戦 杉谷 皐 0-4 京都代表選手

○大会総評
鳥根県の代表として3名が出場した。杉谷は初戦、実業団選手に勝利し大変貴重な経験を積むことができた。応援有難うございました。(顧問 金森 快)

卓球部

第77回中国卓球選手権大会鳥根県予選大会

時 5月18日

於 大田総合体育館

〈男子シングルス〉

優勝 肖 駿駿(33歳)
2位 大村 心(32歳)
3位 金丸 陽(22歳)

〈男子ダブルス〉

優勝 福田健人(25歳)・波多間怜偉(13歳) 組
3位 岡本悠希(中2)・石塚大智(中1) 組
中司良心(中2)・住田光亮(中2) 組

○大会総評

生徒は本校らしい粘り強いプレーを見せ、練習の成果を十分に発揮した。今回の大会で明確となった課題にしっかりと向き合い、更なる技術力の向上を目指して日々の練習に取り組んでいきたい。

第72回中国高等学校卓球選手権大会鳥根県予選大会

時 4月25〜27日

於 カミアリーナ

〈男子団体〉2位

〈男子シングルス〉

3位 大村 心、肖 駿駿
優勝 三好蒼空(22歳)・金丸 陽組
2位 大村 心、肖 駿駿組
3位 福田健人・波多間怜偉組

○大会総評

選手は全力を尽くして試合に臨んだが、残念ながら団体戦、シングルスは7連覇を逃す結果となった。この結果を真摯に受け止め、今回の大会を通じて明確となった技術面や精神面での課題を、今後の練習の中で一つひとつ確実に克服していきたい。一か月後に迫るインターハイ予選に向けて、今回得た経験を糧に、更なる成長を目指して精進していきたい。



ダブルス優勝の三好・金丸組
ダブルス優勝の三好・金丸組
ダブルス優勝の三好・金丸組

(顧問 古瀬泰之)

テニス部

県高校個人テニス選手権大会出雲地区予選

時 4月12日
於 浜山公園

- 〈男子ダブルス〉 2回戦敗退
- 〈男子シングルス〉 4回戦敗退
- 〈女子シングルス〉 2回戦敗退

大会総評

昨年末のシーズンオフからしっかりと練習し、着実にレベルアップして本大会に臨んだ。県大会のシード権獲得はできなかったが、生徒の成長を感じさせる大会であった。

県高校個人テニス選手権大会

時 4月26日
於 浜田・益田

- 〈男子ダブルス〉 2回戦敗退
- 〈男子シングルス〉 2回戦敗退
- 〈女子シングルス〉 2回戦敗退

大会総評

強豪の開星高校に勝利を阻まれた。本校選手は、地区予選から2週間でテニスの質が向上していたが、惜しくも敗れた。開星高校戦で何かを学んだと思うので、今後の練習に期待したい。

(顧問 石川剛巨)

陸上競技部

第79回出雲陸上競技大会

時 4月12・13日
於 浜山

- 大野 蓮(22歳) やり投 5位
- 高橋優澄(25歳) 500m 5位

大会総評

春の3大会が終わったが、地元開催の出雲陸上のみ2名が入賞した。他の選手も自己記録を更新するなど良い仕上がりを見せていたので、県高校陸上大会では新入生と共に中国大会出場を目指して頑張りたい。

(顧問 別所美喜子)

野球部

島根県春季高等学校野球大会

時 4月18日
於 益田市市民球場

本校 0-11 松江南(5回コールド)

冬場に培った練習の成果を発揮するため全力を尽くしたが力不足を痛感する結果となった。課題の多い大会となったが夏の飛躍に向けて様々な点を見直すことができた。この敗戦から選手達は目の色を変え日々の練習に励んでおり、夏の選手権大会では結果にこだわって戦いたい。保護者の皆様には、当日は遠方でありながら球場に足を運んでいただき有難うございました。

(顧問 畑 宗一郎)

一斉書写

時 4月15日

新入生を迎えた4月、全校生徒による「一斉書写」を実施した。黙想から始まり、墨を磨り、各々が集中して取り組むことにより、学校生活における日常の落ち着きや授業に臨む心構えを整えることができた。緊張感のある雰囲気の中、貴重な時間を過ごした。

春季野外活動

時 4月16日
於 県立浜山公園

本校恒例の春季野外活動を行い、中学生・高校生・教員が一緒になって浜山公園まで歩いて出掛けた。前日に降った雨が心配であったが、当日は天候に恵まれた。中学・高校の一年生にとっては初めての経験で大変だったと思うが、やり遂げることができた達成感や充実感を今後の学校生活の中でも生かして頑張りたい。

教職員奉仕作業実施

4月30日、5月8日の放課後に教職員奉仕作業を実施し、校地内及び校地外



周の掃掃除や道路脇の除草作業などを行った。両日とも短時間ではあったが、安全で気持ちの良い環境づくりに全員が協力して取り組んだ。

高校生徒総会開催

時 5月8日
於 体育館

今年度も全校生徒が体育館に集まり、生徒総会を実施した。落合生徒会長のもと、生徒会執行部並びに専門部から今年度の活動、予算等について提案があり、慎重に審議された。今年度のスローガンは「首尾一貫」である。最後まで決めたことをやり遂げるという生徒会の気持ちが進められている。学園祭や生徒会活動において、全校生徒からの意見を取り入れるために積極的にタブレットを活用することも提案された。全校生徒が意欲的に活動し、活気ある生徒会になるよう、全員が協力して盛り上げてくれることを期待している。

高校3年生保護者対象

進学マネープラン講座及び進路保護者会の開催

時 5月12日
於 黎明ホール・図書室

進路保護者会を高校3年生保護者対象に開催した。会に先立ち、ファイナンシャルプランナーの池原元樹氏を講師にお招きし、受験にかかわる費用と資金の準備についてお話をいただいた。続いて進路保護者会では、進学と就職に会場を分けて、中澤悟進学指導部長、



椿英史就職指導部長からそれぞれ合格・内定を勝ち取るためのお話をさせていただいた。全体会終了後、各学級担任と具体的な進路についての個別面談を行った。進路決定の時期を迎え、それぞれの生徒が希望する進路実現ができるように、しっかりとサポートしていきたい。

進学マネープラン講座
参加者56名
進路保護者会(進学)
参加者70名
進路保護者会(就職)
参加者17名
個別面談
参加者58名

吹奏楽部

第29回定期演奏会

時 5月10日

昼の部…14時開演
夜の部…18時30分開演
於 出雲市民会館大ホール
29回目となる吹奏楽部定期演奏会を開催した。新体制となって初めての本番であったが、生徒達はこの一ヶ月間よく努力し、最大限の準備をして本番を迎えた。昼の部・夜の部と2回公演を行い、延べ1400名を超えるお客様をお迎えし、会場が一体となる演奏会となった。

スペシャルゲストには、チューバ奏者の古本大志氏をお招きした。観客を魅了する美しい音色と卓越した技術、底抜けに明るいエンターティナー性に観客は大いに盛り上がり、共演をした部員達にとっても大変貴重な経験となった。



この演奏会を開催することができたのも、地域の方々や保護者会の方々の支えがあったことであり、部員一同感謝すると共に、今後も精進してまいります。

ゆめタウン出雲アニバーサリーコンサート

時 5月18日
 於 ゆめタウン出雲
 標記イベントで、11時と13時30分の2回公演を行い、多くのお客様から温かい拍手をいただくことができた。今後も「地域に愛されるバンド」を目指し変わらぬ精進していきたい。(顧問 竹内康貴)



中高新入生オリエンテーションを実施

時 4月10・11日
 中学・高校合わせて20名の新入生が入学式翌日から2日間オリエンテーションを受講した。

最初に中高合同で水谷厚志校長から学校の歴史や建学の精神について講義を受け、百十数余年受け継ぎ、磨き合い、高め合ってきた校訓「柔しく剛き」の意味を深く考え、これからの学校生活への実践の糧として胸に刻んだ。

その後、中学・高校で分かれてそれぞれに講義を受けた。講義を挟んでLHRや校舎見学、写真撮影等を実施。生徒らの緊張した表情は徐々にほぐれ笑顔が見られるようになった。最終日の午後は、生徒会による部活動紹介、芸術コース音楽専攻の先輩らによる「歓迎演奏会」が催された。和やかな曲に心癒され、出雲北陵での学園生活が始まった。

中学校

卓球部

第48回島根県中学生卓球選手権大会

時 4月29日
 於 鹿島総合体育館
 〈男子団体〉2位 松徳学院
 決勝 本校 1-3
 〈男子個人〉
 優勝 岡本悠希
 2位 中司良心
 〈男子ダブルス〉
 優勝 白根洗太(中3)・中村来哉(中2)

大会総評

団体戦はあと一步の所まで追ったが、勝ち切る事ができなかった。夏に向けて課題を克服していきたい。

第21回出雲市オープン卓球選手権大会(一般の部)

時 5月11日
 於 カミアリーナ
 〈団体〉
 優勝 出雲北陵A(小林、岡本、石塚、清水)
 2位 出雲北陵B(住田、隈元、中司、今福)
 〈シングルス〉
 優勝 岡本悠希
 2位 小林鱗太郎(中3)
 3位 清水寛生(中2)
 ○大会総評
 中学生がよく頑張った大会であった。夏の大会に向けていい準備を進めていきたい。

団体3年連続12回目の優勝!

時 5月10日
 於 カミアリーナ
 〈団体〉
 優勝 出雲北陵A
 2位 出雲北陵B
 〈シングルス〉
 優勝 石塚大智
 2位 小林鱗太郎
 3位 今福龍司(中3)・住田光亮
 ○大会総評
 出場した選手それぞれがベストを尽くして頑張っていた。今後の頑張りにも期待したい。(顧問 相場翔太)

テニス部

中国ジュニアテニス選手権県予選

時 4月27日
 於 松江総合運動公園
 〈14歳以下男子シングルス〉2回戦敗退
 ○大会総評
 中国大会出場をあと一步で逃した。今大会を分析し、悔しさを糧に今後の練習に生かして欲しい。

全国中学生テニス選手権県予選

時 5月10日
 於 松江総合運動公園
 〈男子シングルス〉
 ベスト8 シウイキング・二茶(中3)
 ○大会総評
 強風のため選手達はなかなか自分のテニスができなかったがよく頑張った。特にシウイキングはシード選手との試合で辛抱強くテニスをし、勝利を取めたことは賞賛に値する。(顧問 石川剛巨)

男子バスケットボール部

第7回さんいん未来・縁人SHANE SHEET CUP 2025

時 4月19・20日
 於 松江市総合体育館
 予選リーグ
 本校 50-74 古田中(広島)
 本校 53-55 RIZING 徳島(徳島)
 結果3位トーナメントへ
 本校 56-75 松江一中(島根)
 本校 67-38 八万中(徳島)
 ○大会総評
 予選リーグのRIZING 徳島戦では、チームとしてやるべきことを徹底してプレーすることができた。しかし、他の3試合ではミスが多く、主導権を相手に渡してしまい、思うような試合展開にすることができなかった。この結果を反省し、出雲市ブロック大会に向けて練習に励みたい。ご声援有難うございました。(顧問 多々納厚比古)



野球部

全日本少年軟式野球大会出雲支部予選

時 4月19日
 於 平田愛宕山球場
 本校 3-7 大社中
 出雲部春季野球大会
 時 5月3日
 於 平田愛宕山球場
 本校 0-7 出雲三中

○大会総評
 3年生5名、1年生10名の新チームでの初の公式戦となった。両大会共に先制点を許してしまう展開となった。粘り強く守った部分など、良さも見られたが、チャンスを作ってからあと一本を出さないと課題が残った。3年生の残す大会は出雲市ブロック大会のみ。県総体に出場できるように練習に励みたい。(顧問 酒井甲太郎)

中学校生徒総会開催

5月8日、生徒総会が行われた。生徒会執行部と各専門委員会の目標と活動内容を発表し、達成したい理想の学校像を共有することができた。今年度の生徒会執行部の目標は「楽しい学校生活をみんなで」。黒田志重生徒会長は全校生徒の和を大切にしたい思いを力強く語った。全校生徒で活気あるより良い出雲北陵中学校を作っていくことを期待したい。

授業参観・保護者会総会・学級懇談会開催

時 5月7日
 於 北陵ホール他
 当日は5時間目に授業参観を、また6時間目には保護者研修会を兼ね、島根県警察本部出雲少年サポートセンター少年補導職員 田邨陸様によるSNSを利用する上での注意事項や闇バイト、薬物乱用に関する注意事項などについての講演を実施した。

続いて総会では、昨年度の事業及び決算の報告、今年度の役員選出及び事業計画と予算案の審議がなされ、すべて承認された。
 本年度保護者会新役員の皆様は次の通り。
 会長 門脇 俊(3年)
 副会長 シウイキング・ロバート(3年)
 副会長 森山 慶二(2年)
 監事 松原 亮(2年)
 監事 山崎 貴之(1年)

作品と研究

皆さんは『ピリオオバトル(知的書評合戦)』を知っているでしょうか。これは今から20年近くも前に、京都大学から広まったもので、「書籍本」という意味の言葉『ピリオ』と「合戦・戦う」という意味の言葉『バトル』でできた造語です。

複数の人が自分の読みたい本を持ち寄り、紹介(書評)すること、最も読みたくなった本(チャンプ本)を決めるというコミュニケーションゲームです。

前述のとおり、京都大学から広まったことで、まずは大学・大学院のほうで行われるようになり、全国の高校へ浸透していくのは、それから約5年、中学校へは約8年もかかっています。

本校では、あまり積極的にはやっていませんので、県大会にも出場していませんが、平成29年に2年生の芸術コースで4回にわたり『ピリオオバトル』を実施しました。その時に、クラス20名がバトルを展開して決定したチャンプ本を紹介しましょう。

『荒野』

桜庭一樹

私たちは、たくさんの人を愛し、そしてたくさんの人から愛されて生きています。私が紹介する『荒野』という本は、たくさん人の愛がギュッと詰まった一冊です。

物語は主人公の山野内荒野(やまのうちにこうや)が中学校の入学式で電車の中で神無月悠也(かんなづき

ゆうや)という少年に出会うところから始まります。セーラー服の襟が電車のドアにはさまったのを悠也が助けてくれるのですが、彼は恋愛小説家である荒野の父親の再婚相手の息子だったので。

新しい家族との距離感、新しくできた友人たちとの関係、そして荒野自身の初恋。様々な愛が飛び交うこの話は、「荒れた土地」という意味を持つタイトルにピッタリだと思います。また、荒野には「未開発の土地」という意味もあります。中学生となり、大人に近づいた少女が家族の愛を知り、様々な友人と仲良くなり、恋愛を通して大人になっていく過程が、タイトルを象徴的なものにしていくのだと思います。

『ちくはくな部品』

星新一

この本は短編集になっていて、30のショートストーリーが入っています。この本の説明をすると、作者ならではの創造性で、皮肉を交えた話です。

「万能スパイ用品」では、ある男がスパイになり、上司からカメラをわたされ、このカメラは、音声が聞けたり、味方と通信できたり、武器になったりと様々な機能を持っているが、肝心なカメラ機能がないというオチ。また、「宝島」では、二人の男が海岸でビンを拾うと中には宝の地図が入っていました。宝探しに行くが、途中で船が故障し、小さな島で修理することになります。男たちはこんな離島で生計が成り立っているのを不思議に思い、店の主人に尋ねました。主人は「ある宣伝のおかげだよ」と言い、二人が持っている

たものと同じ地図を見せました。話の長さや場面設定がバラバラですが、どれもタイトル通りの「ちくはくな部品」が登場します。短編なので忙しい合間にサッと読める一冊です。

『はたらく細胞』

清水茜

私が紹介する本は漫画です。この本は『ムック(宝島社)』が「この漫画がすごい!2016」で第7位に選ばれ、累計発行部数150万部も売り上げる人気コミックです。

なぜ人気があるのかというと、漫画の内容の特殊性だと私は思います。ストーリーは、人間の体内にある細胞を「擬人化」して、赤血球や白血球などが主人公となり、日夜、体を守るために奮闘している内容です。ギャグ漫画のように描かれているので、中学・高校で学ぶ細胞や機能がわかりやすく、悪役となる病原菌・ウイルスの侵入に立ち向かう様子なども面白いです。理科が苦手な人にも、おススメの一冊です。勉強を兼ねて読むのもよし、単に漫画として読むのもよし、シリーズ化していますので、ぜひ読んでみてください。

『コーヒーが冷めないうち』

川口俊和

この本は、不思議な噂のある喫茶店を訪れた四人の女性たちの話です。不思議な噂というものは、この喫茶店内のある座席に座ると、座っている時間だけ自分の望んだ通りの時間に移動できるというものです。ただし、そこには非常に面倒くさいルールがあります。いくつか紹介しましょう。一つ、過去に戻ってどんなに

努力しても現実が変わらない。二つ、過去に戻っても自席を移動することはできない。三つ、過去に戻れるのはコーヒーをカップに注いでから冷めてしまうまでの間だけ。ルールは他にもありますが、どれもファンタジーっぽくない、現実味あるものです。

この本には四つの物語が入っています。家族、愛、後悔……。どれも心温まる、感動する話です。この本には続編もあります。これもオススメです。

どうですか? 読みたくなった本がありますか? 昨今の大学入試では「総合型選抜」が多くなり、プレゼンテーション力がカギとなる場合があります。相手の心をしっかりと捉える能力を身につけることはとても大事ですね。

紹介した本は、図書室に入れてもらいました。一読の価値ありですよ。

今月の
1枚

「本の表紙」

来問

由衣
(高編)

